

2008 年度

科目名 基礎ゼミ I	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 浅尾 広良
授業テーマ 『竹取物語』と〈異境〉を考える		
授業の概要と目標 『竹取物語』は月の都（異境）から「かぐや姫」がやってくる話です。浦島説話は、この世の人である「浦島」が蓬莱の国（異境）に行く話です。このように、日本の昔話や物語には〈異境〉との関わりを描いたものがたくさんあります。このゼミでは、〈異境〉とは何かを考えながら、昔の人が〈異境〉とこの世との関係をどのように捉えていたかを〈言葉〉の意味を深く掘り下げることから考える。		
評価方法 発表（60%）、授業への取り組む姿勢（30%）、出席（10%）を総合して評価する。		
テキスト 『新版・竹取物語』	著者 室伏信助	出版社 角川ソフィア文庫
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 - オリエンテーション 「異境」という存在。 - 異人來訪譚の構造① 「羽衣伝説」・「伊香の小江」他 - 異人來訪譚の構造② 『竹取物語』・天人女房他 - 異郷訪問譚の構造① 『日本書紀』『風土記』における浦島伝説 - 異郷訪問譚の構造② 『室町物語草子集』における浦島伝説 - 輪読発表サンプル（発表者 浅尾） - 個人発表指導① - 個人発表指導② - 発表（担当者1・2・3） - 発表（担当者4・5・6） - 発表（担当者7・8・9） - 発表（担当者10・11・12） - 発表（担当者13・14・15） - 発表（担当者16・17・18） - 発表（担当者19）		